

環境学習プロジェクト活動実施報告書

六甲山ビジターセンター環境学習プログラム

報告：田丸

実施日：令和5年9月9日

実施場所：六甲山ビジターセンターと周辺の自然観察路

テーマ：六甲山の自然はなぜ素晴らしいのか

趣旨：標高約800mの六甲山上・県立六甲山ビジターセンターのある記念碑台周辺は海岸近くの市街地と比べて気温が約4～5度低いため、秋の訪れが早くなります。

街中はまだ暑い日が続いていますが、爽やかな六甲山上で五感を使って自然とふれ合い、その素晴らしさを感じてなぜなんだろうと振り返ってみては如何でしょうか。

今回は午前中、元京都光華女子大学こども教育学部教授、菅井啓之先生をお招きして六甲山ビジターセンター周辺の自然を観察し、六甲山の自然を大好きになっていただこうと思っています。

午後には公認ネイチャーゲーム指導者の方と一緒に自然と触れ合う楽しいゲームを体験しよう。

参加者：10名（大人10名、子供名）

サポーター：9名 講師：4名

スケジュール： 9：40 六甲山ビジターセンター前集合、受付

10：00 開講の挨拶、趣旨の説明

10：15 菅井先生紹介、観察会への導入

10：30 六甲山ビジターセンター周辺の自然観察

12：15 昼食休憩

13：00 ネイチャーゲーム体験

14：40 解散

概況：今回の受講者は想定していたお子様連れのご家族が学校の2学期開始早々のためか応募がなく、大人ばかりとなりました。応募者12名のうち男性2名が連絡なしに欠席となり会側からのTELでキャンセルを確認しました。最終、見学者とスタッフの受講希望者を含め20名となりました。午前中の菅井先生の観察会は自然観察の基本、心構えを体験することで教えていただきました。全体の名前を聞いて知る（識る）ではなく、1つ1つをよく観て察る（おしはかる、思いやる）ことが大切や、マタタビの虫こぶ、オオバヤシャブシの葉の個々の形や大きさがなぜ違うのか等実物で教えていただいた。

午後のネイチャーゲーム体験は北条リーダーの指導でプログラムはノーズ：六甲山に生息する生物（ヒントを聞いて判ったら指を鼻にタッチ）、カモフラージュ：生存の仕方如何に生き延びるか（指定されたフィールドの中に隠された人工物を幾つ見つけられるか）、音いくつ：（耳を澄ませて何種類の音が聞こえるか）、ウエルネス：心静かに自然と融合（呼吸を整え心を解き放つ）等。ゆったりとした気分で六甲山の自然の素晴らしさに浸ることができました。

一般応募の参加者も満足されたようで他のイベント情報の案内を依頼されました。

以上

